

# SDGs時代における 東アジアからの 開発資金の潮流と課題

## 途

上国支援のための資金は、公的資金であるODA（政府開発援助）を中心にこれまで議論されてきました。しかし新興ドナーの台頭や先進国政府の厳しい財政状況を背景に、「官民連携」のかけ声のもと民間資金の存在感が増し、また新興国による「南南協力」が推進されるなど、従来の公的資金の枠ではくれない資金の流れが顕著です。他方、民間セクターにおいて、はビジネスと人権やCSVに関する議論を通して、国際的な開発課題における民間企業の責任と役割について議論が進んできました。開発とそのため資金、役割を、今どのように考えるべきでしょうか。持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえ、東アジアの開発資金の現状とあるべき姿を考える本シンポジウムではNPO／NGOの実務者、研究者、政府および企業の担当者など、セクターを超えた内外の方々にご登壇いただく予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 3月2日(木) 13:30～17:30【開場 13:00】  
交流会18:00～20:00

3月3日(金) 10:00～17:00【開場 9:30】

会場 法政大学 市ヶ谷キャンパス

3月2日(木) 富士見ゲート棟6階

3月3日(金) 富士見坂校舎3階

資料代(2日間分) 一般1000円  
学生・マンスリーサポーター無料

会場アクセス(各駅下車徒歩10分)

【JR線】 総武線:市ヶ谷駅または飯田橋駅

【地下鉄線】 都営新宿線:市ヶ谷駅

東京メトロ各線市ヶ谷駅または飯田橋駅

日英  
同時通訳



主催・お申込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン

TEL:03-3834-1556

<http://oxfam.jp/news/cat/event/0302.html>

共催 法政大学／SDGs市民社会ネットワーク



OXFAM  
Japan